

卵敷の未来を見据える

■ 卵敷のためにしたいこと

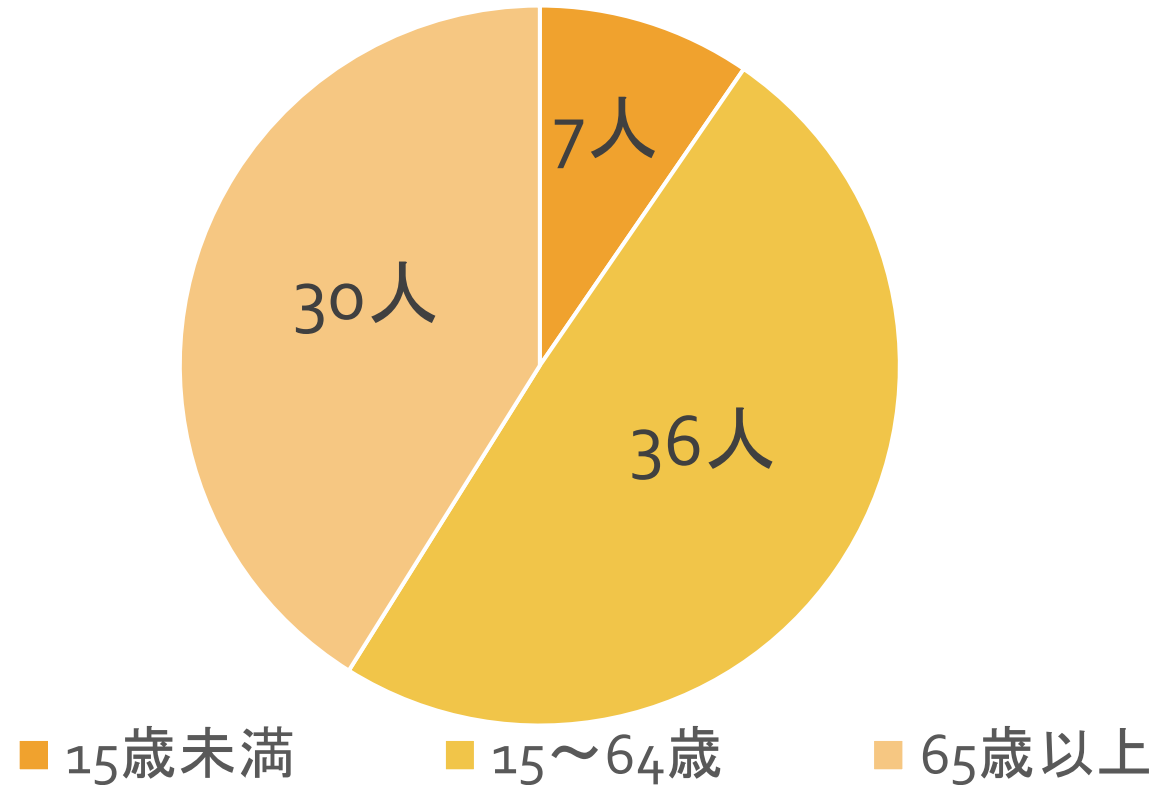
卵敷の人の役に立ちたい！！

(理由)

- ・ 自分たちがやりたいこと ~~≠~~ 卵敷の人たちが求めている
- ・ 卵敷の人の意見を反映したらよりよい地域になる
と思ったから。

■ 卵数の現状

卵数の年代別人口



■ 卯敷の現状

- 家の数...昔：40軒くらい 今：25軒くらい
- 一軒あたり1人か2人しか住んでいない
- 移動手段...バス：朝と夕方しか出ない
- 買い物...出張販売、西郷まで出ていく
- 観光面...バスでの移動時間が長い



卵敷の人に
インタビューをした！

■インタビュー結果

〈内容〉

- ・ 今、卵敷地区で生活で困っていることがあるか
- ・ 今、学生にしてほしいことはあるか

〈結果〉

- ・ バス停から家に帰るまでが荷物が多くて大変！
(家まで荷物が楽に運べれば、たくさん買い物ができる)
- ・ まだまだ元気で、なんでも自力でできる！

■提案してみた！

- ①買い物の荷物持ちor荷物を運んでくれる道具を作る！
- ②お手伝い（雪かき、草抜き）として、人手を補う！

■ 卵敷の人の考え

- 理想的な活動だが、人手が足りない
- 学生と卵敷の人の都合が合わない
- 今の卵敷地区は、自分たちの力で成り立っている

■この現状が10年、20年続くと...

- 今元気な高齢者たちは80代～90代
- 若者は出世していなくなる
- 住む人が減る、空き家の増加
- 土地の管理の不十分

おそらく今よりも困ること、大変なことが増える！！

■ 私たちが取り組むこと

将来を見据えて、今手伝えることをする。

そのお手伝いの積み重ねの中から方法を見つける



日頃卵敷の人たちがしていることを、
お手伝いを通して体験する

卵敷

情報の伝え方

買い物

ゴミ拾い

田仕事

そうじ

草刈り

話し相手

雪かき

内容

- ・ やってみる
- ・ 感想を聞く
- ・ 写真を撮る
- ・ 将来大変そう
なことを考
えてもらう

将来を見据え、方法を見つける

■まずやってみることはゴミ拾い

迷惑にならない、私たちができること

場所

卯敷の海岸周辺

目的

地域の人との交流を深めよう
次のお手伝いを見つける



■ 第1回 ゴミ拾い

区長の大上さんと他に2人の人が協力してくれた！

〈感想〉

- 砂浜の草が多かった
- 一度の掃除で結構きれいになる！
- 韓国のごみが多かった



- 応援してもらえた
- マウンテンバイクに乗った方がいた
- 継続してごみを拾わないといけない



■ 反省

- 目的であったお手伝いは見つけることができなかった
- お年寄り（70代～）の人にも話を聞いたほうがいい
- 聞くことがまとまっていなかった

■ 2つの動き

- ① ゴミ拾いの方法をつきつめる
- ② 自分たちの提案を実現できそうなものにしていく

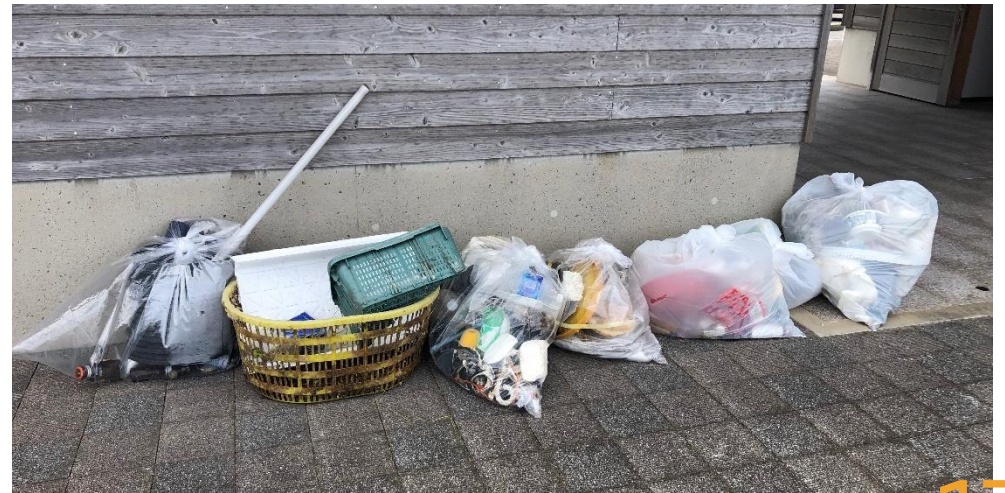
■ 第2回 草刈り & ゴミ拾い

4人の人に協力してもらった

- ・ 卯敷区長夫妻
- ・ 70代男性
- ・ 70代女性

草刈り機を使用するため、

- ・ 地域の方々→草刈り
- ・ 生徒→ゴミ拾いと分担しました！

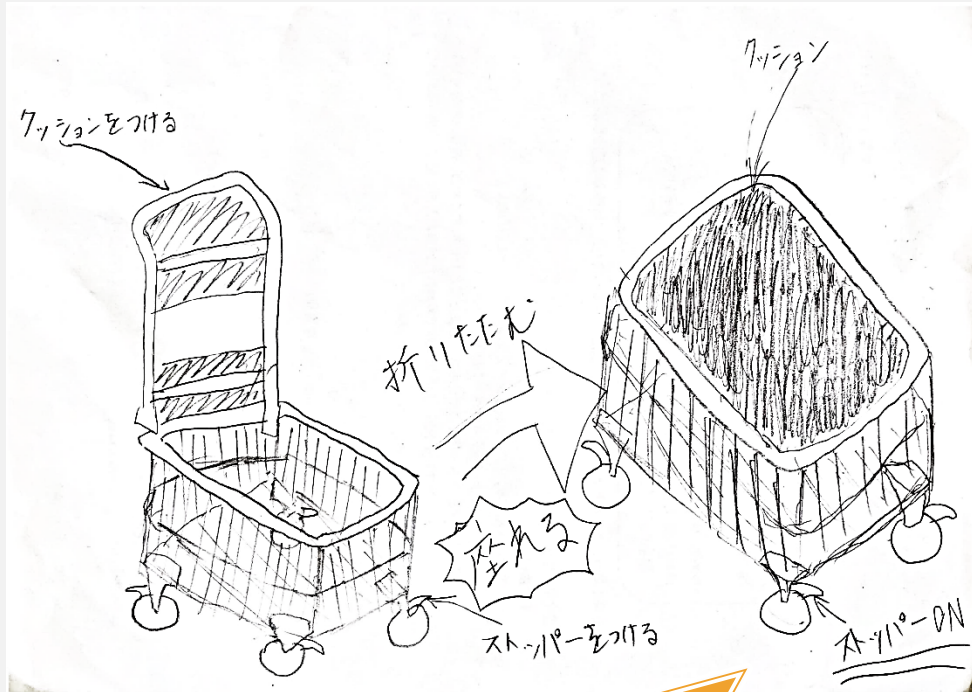


■草刈りから考えたこと

- ・ ゴミ拾いは年に3回は必要かもしれない
→第1回目から2か月間でゴミが増えていた
- ・ 草刈り機のガソリン代の請求
→地域の方の自己負担になっていた
★次回からは自分たちで賄う

らくらく！ショッピングカートアイデア

イメージ図



★考えるポイント★

- ・タイヤの安定性
- ・コンパクト
- ・なめらかな走り
- ・卵敷の人が使いたくなる
- ・誰でも使える など

荷物をスムーズに運びたいとき

■ 提案と現状調査

5人の人に協力してもらった

- ・ 90代一人暮らしの男性、奥さんは入院中
- ・ 片耳が不自由で家を出ていない女性
- ・ 70代女性
- ・ 70代夫婦、車をもっている

ほかにも道を案内してくれた方、挨拶をしてくれた方がいました！

■ カートに対する地域の人々の意見

- とてもいいと思う
- 今の自分たちはまだ元気だから使わない
- バス停に置いておくのは近くていい

■ 卵敷の人の買い物の現状

- ・ 子供が行ってくれる
- ・ 移動販売は高く、賞味期限がぎりぎり
→消費が遅く、期限を過ぎてしまう
- ・ 移動販売は2000円程度で、手で運べるほどの買い物
- ・ 車で行ける



■ 提案と現状調査から考えたこと

今は必要ない！
だけど...



楽しい買い物を続けるには
これから必要になるかも

→カート案の修正



■最後にすること

自分たちが考えたカートについて
役場に提案する

■ ジオパーク研究を通して

- ・ みんなで話し合う機会が必要だった
- ・ 私たちが取り組んだ活動をほかの地域の人のためにもしてほしい
- ・ 地域の人に意見は聞いてみるまでわからない！
- ・ 地域の人と関わるほど、自分たちがすべきことがわかる！

ご清聴ありがとうございました